



<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/04ijyu/index.html>



★あなたの移住を応援します。



もしも スローライフ をお探しでしたら？

詳細は
WEB

「北海道で暮らす」という選択！。

Slow Life

弟子屈に移住するか...

北海道てしかが町

弟子屈町役場企画財政課企画係

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号

TEL 015-482-2191 (代表)、015-482-2913 (課直通)、FAX 015-482-2696、E-mail / kikaku@town.teshikaga.hokkaido.jp



移住体験ツアー

平成 22 年度
開催のご案内

平成 22 年 7 月 16 日 (金) ~ 18 日 (日)

夏季開催ツアー

期間: 2泊3日 (金・土・日)

募集人数: 3組6名程度

体験費用: 1室2名 19,800円

1室1名 23,800円

募集開始は平成 22 年 5 月より



平成 23 年 2 月上旬に実施

冬季開催ツアー

期間: 2泊3日 (金・土・日)

募集人数: 3組6名程度

体験費用: 1室2名 19,800円

1室1名 23,800円

募集開始は平成 22 年 12 月頃



◎ツアーの募集開始は平成 22 年 5 月 (夏季) と 12 月頃 (冬季) に HP にて募集します。その他、体験費用には往復航空チケット、一部の体験費用は含まれていません。また、上記内容は現段階での予定となっておりますので、変更することがあります。

<参加者の声>

■普段では絶対に聞けない先輩移住者のアドバイス、経験談を聞くことができ、また実際の暮らしぶりを自分の目で確認できたことは、移住を検討する上で大変参考となる貴重な情報収集ができ、漠然としていた移住計画が一步前進した。

■先輩移住者のお宅を訪問し、窓から眺める大自然の景色、自宅にある露天風呂を見て改めて自然の中でのんびり暮らすことの素晴らしさを実感できた。

■このツアーでしかできない冬の生活体験 (除雪・スノーシュートレッキング・冬道運転) は北海道の冬の楽しさ、厳しさ、大変さを肌で感じられて、とても参考になった。

体験メニュー

先輩移住者お宅訪問 道外から移住された方のお宅を訪問、経験者ならではの話を聞けます。(夏季・冬季)

北海道住宅見学 寒さに強い北海道の住宅を専門家の解説付きで見学します。(夏季・冬季)

移住地見学 町内各地に点在する移住地をご案内します。(夏季・冬季)

交流会 お酒を飲みながら、地元の方と交流を深める貴重な機会です。(夏季・冬季)

町内生活関連施設見学 医療機関 (病院)、スーパーを見学します。(夏季・冬季)

除雪体験 スコップ、スノーダンプなどを手に取り実際に除雪作業を体験します。(冬季のみ)

冬道運転体験 特設コースでアイスバーン、わだちなどの冬道路面を運転体験します。(冬季のみ)

スノーシュートレッキング体験 スノーシュー (カンジキ) を履いて原生林を散策、雪国ならではの冬の楽しみ方を紹介します。(冬季のみ)

移住アドバイザー制度

登録者 6 名

▶ 後悔しない移住のために

「移住アドバイザー制度」は既に町内に移住されている方がアドバイザーとなり、これから移住する方や移住を検討されている方に対し、アドバイスを行う制度です。相談方法は電話や E メールのほか、実際にお宅訪問し、移住に至った経緯や都会と田舎のギャップなど、実体験に基づいてアドバイスいただくことも可能です。

「移住者はこういった生活をしているの?」、「厳しい冬の生活には不安を感じる。」「移住して不便だったところは?」などと不安を抱かれています。ぜひ、この制度をご利用ください。



申込先

弟子屈町役場企画財政課企画係

TEL:015-482-2913

Eメール kikaku@town.teshikaga.hokkaido.jp

移住スタイル

▶ 移住を決意するまで / 池田さんご夫妻

心
ひ
か
れ
た
風
景
に
身
を
置
き
た
い



※平成 19 年 7 月に実施された、町の「移住体験ツアー」に夫婦で参加。平成 20 年 4 月に三千明さんが定年を迎えたのを機に、弟子屈への移住を決意。同年 10 月、大阪府から移住。

私達は、「移住」を大げさにとらえてはなかったんですよ。サラリーマン時代は通勤族で、大阪以西はあちこち動きまわった。だから、いざ本当に移住となった時、住まいを移すことに抵抗感はありませんでした。

周囲からの反対もほとんどありませんでした。子どもたちは既に独立していて、私達の好きなようにしていいと言ってくれました。ただ兄弟たちは心配しましたけどね。私達のどちらかが先立った後、残された方が困ると。でもそれは、どこに住んでいても同じではないかとも思いました。

夫婦ともに、考え方が割と柔軟だったことが、移住の原動力になったのかもしれない。

この地を移住先に決めた理由は、平成 18 年に北海道旅行で初めて弟子屈に来た時、以前訪れたスコットランドに景色が似ていると感じたことでしょうか。広々とした草原と、どこまでも広がっていく空。こういう場所に一軒家を建てて住みたいと、ふと思いました。また、そのとき触れ合った弟子屈の人たちの印象も良かったんですよ。

翌年 (平成 19 年)、再び弟子屈に行こうと、インターネットでいろいろと検索しているときに、「移住体験ツアー」のことを知り、面白そうだと思って参加しました。このとき対応してくださった町職員の方や移住アドバイザーの方たちには、良くしていただきました。移住アドバイザーという制度は本当にいいですね。

正直に言って、定年後、仕事が無くなった自分自身の存在意義はどうなるのかという不安はありましたが、住まいを移したことによって、サラリーマン生活の延長線上でものを考える必要がなくなりました。日常の中に発見があり、周囲の方に教わりながらいろいろと暮らしを工夫していくことで、もっと生活が充実していくと思うと楽しみです。(談)